

わこっぴ

第32号

和歌山県高等学校PTA連合会 会報
 〒640-8312 和歌山市森小手穂 136
 和歌山県立和歌山東高等学校内
 TEL073-488-7210 FAX073-488-7786
 URL: <http://www.27wakop.jp/>
 E-mail: wakop@titan.ocn.ne.jp

平成29年度

和歌山県高等学校PTA指導者研修会 開催



平成29年度指導者研修会を、12月2日（土）ホテル アバローム紀の国に於いて開催いたしました。

講演は、今年度のテーマである「情報化社会とPTA」に沿って総務省近畿総合通信局より講師をお招きしてインターネットの安心安全な使い方と題してお話しをいただきました。

分科会Ⅰは、星林高校と海南高校大成校舎の実践発表。分科会Ⅱは、県立中学校の意見交換会。

今年度も日帰り研修会でしたが、充実した半日を過ごすことができました。



分科会Ⅰ（学校教育とPTA）報告

星林高校から、『星林愛を育む』と題した実践発表がありました。主な活動内容は、生徒指導部では、年7回、登校指導を行っている。学習指導部では、月2回のイングリッシュカフェ英会話教室や学校の進路指導への協力・支援を行っている。文化厚生部では、年3回のPTA日より「星友」の発行・文化祭への参加と活動を行っている。そして、役のためなら嘆かずにやり方を変えれば良いし、誰がするのではなく出来る時に出来る人がやっという合言葉で取り組んでいて、それを一言で言えば“星林愛”この言葉を総会・学校行事等で話す様に心掛けているそうで、この言葉を大切にしているという事を感じました。

続いて、海南高等学校大成校舎から『地域と連携したPTCA活動』と題した実践発表がありました。

大成校舎の生徒は、海南市・紀美野町の生徒が約75%を占め、子ども達をしっかりと成長させ、これからの地域を支える役割を担える人材を育てるためにも学校と協力し、地域との交流を深めながら様々な活動に取り組んでいるそうです。生徒の活動としては、様々なボランティア活動に取り組むピースクラブがある。また、きみのこども園との交流は特に盛んで、体育祭ではダンスを披露してもらい、文化祭ではコンサートに招待し、絵画展示もしてもらっていて、生徒が地域の行事等に関わりを持つ様々な場面で、育友会は必要とされるサポートに応じる体制を作っているそうです。

大成会の組織については、広報部では、編集や印刷まで自分たちで行い、年4回発行している。事業部では、文化祭での交流を行っている。保体・生指部は、ソフトボールで地域と交流している。人権・進路部は、進路講演会をしたり、人権教育のサポートをしている。共育部では、「歩つとウオーク」というイベントで生徒と共に道案内や参加者に飲み物や手作りお菓子を配っている。そして、地元公民館の文化祭への参加も行っている。

このほか、「残そう伝統文化」という事で、野上八幡宮秋祭りや熊野古道の道普請にも生徒と共に参加している。

そして、大成会では毎年4役でスローガンを作成して全会員に配布し、目指す所を明確にしている。ちなみに、PTCAとは、PTAに地域の皆さん（Community）が加わった会の事だそうです。

このように、大成会の活動は生徒の校内外の活動に寄り添う様にサポートしながら活動しているそうで、地域の方々も含め皆でこの学校を盛り上げているのを感じました。

【報告 調査広報委員長 山本智也（田辺工業）】

分科会Ⅱ（県立中学校とPTA）報告

県立中学校とPTA、和歌山県高P連への加入のいきさつと経過等について山田高P連会長より説明がありました。

平成16年4月、和歌山県初となる県立中学校が向陽に開校、続いて桐蔭・古佐田丘・田辺・日高高校附属の4校が次々に開校し、14年が経過しようとしている。当初は、中学校単独のPTAでしたが平成21年より県高P連に加盟し5校で県立中学校委員会として活動を始めました。初代委員長に向陽中学校代表が就任、翌22年度から輪番制を採用し現在に至っています。指導者研修会では、中学校委員会が中心となって分科会を持ち、情報交換を行っています。

意見交換会で、専門委員会時に向陽中学校がPTA懇親会としてソフトバレー大会を開催していると紹介したのを聞いた田辺中学校が取り入れて開催したところ多数のPTA会員の参加があり盛大に行うことができたとの報告がありました。

県立中学校のあるべき姿とは？、中高一貫教育の中での中学校が担う役割とはどうなのか？大学進学を目的とした勉強を行うのではなくクラブ活動にも力を入れ3年生の夏以降も活動ができる環境にあるので、モチベーションの維持にもつながる。また、地域とのつながりを深め、地域のリーダーになるような人材の育成もできる。どこにもない県立中学校を作るよう日々努力していると、参加いただいた教員より報告していただきました。

他の県立中学校の取り組みを聞ける場や、他の県立中学校とPTA会員との関わりが非常に大事であると感じました。他校の取り組みを見習い取り入れていく柔軟な考えをもって県立中学校を盛り上げていきたいと思います。

【報告 県立中学校委員会 委員長 新谷彰宏（古佐田丘）】



教育懇話会に参加して

11月30日(木) 県民文化会館で県教育委員会、高等学校校長会、PTA連合会の関係者で開催されました。

懇談では、「ICT教育のさらなる充実に向けた学校環境の整備について」「特別な支援を要する生徒、就職を希望する生徒及び部活動を行う生徒等への支援の充実について」「生徒の安全安心について」「募集定員について」「高等学校全日制課程通学費補助制度について」の五つのテーマでディスカッションを行いました。

その中で、様々な情報を提供していただきました。部活動では、全国的な動きとして週に1日は休養日を設けるというものでした。今年度から働き方改革で社会全体が大きく変わろうとしています。メリハリのある活動で成果をあげられるように創意工夫が必要だと思えます。変える努力はこれだけに限らず学校と家庭が協力して定着を図っていく事が大切だと感じました。

生徒の安全、安心の確保について、防犯カメラの設置の要請がありました。安全については環境面の充実も大切ですが、通学で使用している自転車事故についても加害者となりうるという話も出ていましたので、早速帰って子どもと話をしました。

先日、学校で自転車の安全点検を実施していただきました。その中でブレーキの修理を指摘されている台数が多い事に驚きました。自転車はなぜ安心して乗れるのだろうと考えたときに、それは、確実に止まる事が出来るからだという話をしました。自転車の安全について子供と話をするきっかけとなりました。

来年度は今年度と比べて、中学校卒業予定者が400名減という話がありました、急速に進む高齢化社会の中で、正に子供達は社会の宝です。今後も、学校、地域の方々と家庭が一体となってそんな子供たちを育てていかなければならないと感じPTAとして何が出来るのかを考え活動していきます。

今回、参加させていただき大変有意義でした。ありがとうございました。

【報告 和歌山北高等学校 PTA会長 東 勝哉】

第16回和歌山県高P連広報紙コンクール



【審査会】

11月16日(木) 県民文化会館において調査広報委員と高P連三役が出席し、審査会が行われました。

今年度は審査方法を見直し、全広報紙に項目ごとに点数をつけ、総合点数上位を入賞としました。

12月3日の指導者研修会で表彰が行われました。

- 最優秀賞 向陽中学校・高等学校PTA
- 会長賞 海南高等学校静波会
- 優秀賞 桐蔭中学校・高等学校PTA
那賀高等学校育友会
- 佳作 古佐田丘中学校・橋本高等学校PTA
一般社団法人 神島高等学校育友会
県立和歌山高等学校育友会



那賀高校育友会の活動

本校は大正十一年に県立那賀農業学校として設立され、まもなく創立百周年を迎えます。普通科と国際科があり岩出市だけでなく紀の川市や和歌山市などからも多くの生徒が通っています。

「学び鍛える那高生」・「地域に貢献する那高生」のスローガンのもと、生徒の夢の実現のため、子ども達と学校を側面からサポートしています。

「保護者が行きやすい学校」・「行きたくなる学校」と、役員自らが楽しく自主的に学校行事に参加しています。

主な育友会活動をご紹介します。

【那高祭（文化祭・体育祭）参加】

文化祭では模擬店（今年は焼き鳥とタピオカドリンク）を出店し、生徒からも大好評です。今年はずっと達に負けじと揃いのTシャツを作成しました。また、体育祭では熱中症対策のため飲料水を配布します。綱引き、玉入れなど競技にも参加し、子ども

達と一緒に汗を流し気分は高校生。青春が爆発する那高祭！。笑顔あふれる子ども達と一緒に過ごせる時間は、役員をしていて良かったと思う瞬間です。

【あいさつ運動】

登校時に正門等で子ども達を迎え、一日元気で頑張ろうと、「おはよう」の声をかけを行います。元気に返事する子、恥ずかしそうな子、眠そうなお子。励ますつもりが、子ども達の返事に逆に元気をもらうこともあり、一日が始まります。



【進路講演会】

保護者を対象とした進路講演会。「大学のレベルや偏差値の話、受験を前にした子どもとの接し方、大学進学に要する費用は。」など役立つ話がいっぱいあります。



【育友会たより発行】

夏・冬の年2回発行します。内容を決め、子どもや職員への取材、写真撮影、編集と、一年中学校に姿を現しています。一人でも多く写真を載せてあげたいと、気がつけば何千枚も写真撮影していました。笑顔あふれる写真のおかげで広報誌コンクールでも受賞。これらの写真は卒業式の日にはスライドで披露できないかと考えています。

このほか、ワンコイン情報交換会、校内清掃活動、マラソン大会でのタオル・飲料水配布など、子ども達と接し、学校に行く機会を楽しみにしながら、「子どもの夢の実現」のため、日々、育友会活動に励んでいます。

育友会長 戸田理都

神島高校育友会の活動

一般社団法人神島高等学校育友会は、生徒達が健全な社会人として育つようにその人格向上と福祉の増進を図ることを目的として、平成25年に一般社団法人として新たなスタートを切りました。

理事は10名で、育友会の事業実施の意思決定をしていますが、実際の活動は、4つの専門委員会で行っています。

総務委員会では、年3回の育友会たよりの発行、理事・監事候補者の選考等を行っています。



指導委員会では、毎週水曜日の朝八時から八時半まで遅刻防止・挨拶指導、文化祭前の夜間巡視を行っています。

文化委員会では、文化祭の一般開放の日にバザー、喫茶コーナー、ソフトクリームの販売を行い、収益金を卒業式の記念品代に充てています。

神島高校は、オーストラリアにある姉妹校「タガラ・レイクス・セカンダリー・カレッジ」と生徒たちの派遣・受入を交互に行い交流を行っています。



流委員会では、着物着付け体験やホストファミリー意見交換会等を行っています。今年、文化祭の一般開放の日には交換留学生や地域在住の外国人の方を招いて餅つきを行いました。

また、神島高校には、育友会とは別に育友会本部役員経験者で組織する『神島高等学校国際協力会』という組織があり、姉妹校との交流のための旅費等の補助を行っています。

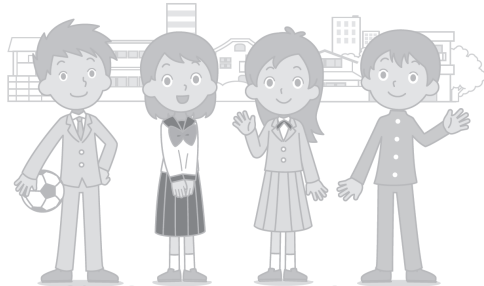
他にも、保護者メール連絡システム、全国高P連賠償責任補償制度への一括加入、QUアンケート、生徒ホルルの備品更新、収益事業としての住宅貸付などを行っています。

平成27年度から学級減が続き、3年間で4学級減となり現在は経営科3学級・普通科3学級の計6学級の会費収入の範囲内で育友会の運営をいかにしていくか、理事や委員のなり手いかに確保するかが課題となっています。



<p>第2ブロック</p> <p>教育講演会 平成29年11月10日(金)</p>  <p>『きのくにコミュニティスクールの推進について』</p> <p>講師 和歌山県教育委員会 総務課主幹 田中 いずみ 氏</p>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ブロック研修会報告</p>	<p>第1ブロック</p> <p>教育講演会 平成29年11月28日(火)</p>  <p>『ラジオと地域コミュニティー』</p> <p>講師 FMはしもと 代表取締役 向井 景子 氏</p>
<p>第5ブロック</p> <p>ブロック研修会 平成29年11月10日(金)</p> <p>『ユネスコについて』 ～平和・世界遺産・アウシュビッツ～</p> <p>講師 新宮ユネスコ協会 会長 中谷 剛 氏</p>		<p>第4ブロック</p> <p>「交通安全」と「ネットマナー啓発」 の標語と原画を生徒から募集し、優秀 作品でポスターを作成、各校に配布し て掲示を行いました。</p> <p>また、通学路などで道路整備や街頭 の設置など、生徒たちが安全に登下校 できるように、各行政機関に要望・陳 情を行いました。</p>

和歌山県高等学校PTA連合会推薦 中学生・高校生総合保障制度



簡単支払特急便

ケガによる入院・通院で5万円以下のご請求は、電話による事故報告のみで保険金をお支払いします

引受保険会社
AIG損害保険株式会社 和歌山支店
〒640-8455 和歌山市北ノ新地1-25
(富士火災和歌山ビル3階)
TEL 073-432-5641 FAX 073-428-2335

取扱代理店
フォーユー有限会社
〒640-8203 和歌山市東蔵前丁4
(ファーストビル6F)
TEL 0120-175-688

AIG AIG損保

平成30年度和歌山県高P連定期総会

平成30年6月16日(土)
(和歌山ビッグ愛)

第44回近畿地区高P連大会兵庫大会

平成30年7月15日(日)
(神戸国際展示場)

第68回全国高P連大会佐賀大会

平成30年8月20日(月)21日(火)
(佐賀総合体育館他)

わこっぴ第32号の発行に当たり、ご協力いただいたすべての皆さんに感謝し、心から御礼を申し上げます。

さて、学校教育を象徴的に表す言葉として、「知・徳・体」という言葉があり、今も生きる力の要素として、学校教育の柱とされています。「知・体」は、人の得意・不得意によって多少の差はあるものの、点数や記録で表しやすいものですが、「徳」、つまり心の持ちようについては、なかなかそのような評価が難しくなります。思いの強さや大きさを表すだけでなく、プラス志向とかマイナス志向というように、方向もありません。「徳」は方向と大きさを持つたベクトルのようです。マイナスの心を持つと、諦めたり、努力を放棄する方向に進み、目ざしている目標からどんどん遠ざかっていきます。

保護者の皆さんも、これまでの生活で無理だと思っただけに諦めてきたことの中に、本当にやりたかったことはありませんでしたか。高校生の皆さんの人生はこれからです。彼らがプラスの方向に力強く向かう心のベクトルを維持し、夢の実現が叶うよう見守り、支えるのがすべての大人の責任です。

全日本選手権 優勝



努力の結果

和歌山北高等学校3年 東 晟良



この気持ちの変化が、私にとつてフェンシングの面においても気持ちの面においても大きく成長させてくれました。

私は、この高校3年間でたくさん思い出や経験を積ませていただきました。

理解し的確なアドバイスをしてくれるので、心に余裕がある状態で大会時には遠い会場にも足をび応援してくれるので、心強く良い試合ができたように思います。

すが、今まで教わってきたことを向こうでも出せたら良いと思います。また、約残り2年半となった東京オリンピックに出場し、多くの方々

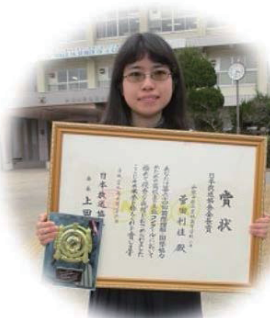
「夜空に輝く星のように一人一人の生徒がそれぞれの輝きを認め合いながら、調和のとれた人物に成長してほしい。」

日本放送協会会長賞



星の林で見つけた夢

星林高等学校国際交流科2年 菅田利佳



るのだろうか。」 当時は、不安でたまりませんでした。けれども、そんな心配は、無用だったので。入学直後、先生方は私に、「最初から無理と言わず、何事にも挑戦してみなさい。」

また、素晴らしいクラスメートにも恵まれました。彼らは皆、私を一人の友人として受け入れ、様々な場面で手をさしのべてくれるのです。

れる優しさには、心から感謝の気持ちでいっぱいになります。そしてこれらの心温まる日々から私は、大切な気づきと大きな夢を得たのです。

「利佳も一緒にやろうよ。」 「サーブならできるって。」 行事や球技大会の時ですえ、壁を築くことなく接してく

